

Chapter

5

清掃活動で貢献 地元への感謝を込めて

○ 坂出コスモ興産株式会社 谷川 香里 / 総務部 総務課 課長 大川 智久

● ボランティアによる清掃活動

坂出製油所では、この地域の清掃活動に2007年から参加しています。会社独自の活動は、春と秋の2回開催しています。また、地元の清掃活動のお手伝いとして奇数月を担当しています。参加者は皆ボランティアで、会社の掲示板の募集に応じた人たちです。

私がこの清掃活動に初めて参加した時に感じたのは、思っていたほど海岸が汚れていないということです。以前は流れてきたペットボトルなどが海岸一面にあったそうですから、綺麗なのはこの活動が続いているからなのだろうと思いました。社員の家族も多く参加しており、イベントのような楽しさもあります。お子さんも一所懸命にごみを拾っていて、私も負けていられないなと思っています。

● 社内コミュニケーションの活性化

この活動には、地域の美化のほかにも、同じ社内でも普段はなかなか顔を合わせない人たちとの交流ができるもうひとつのメリットがあります。清掃活動後にバーベキューをしながら、新しいコミュニケーションが生まれるのも楽しいですね。

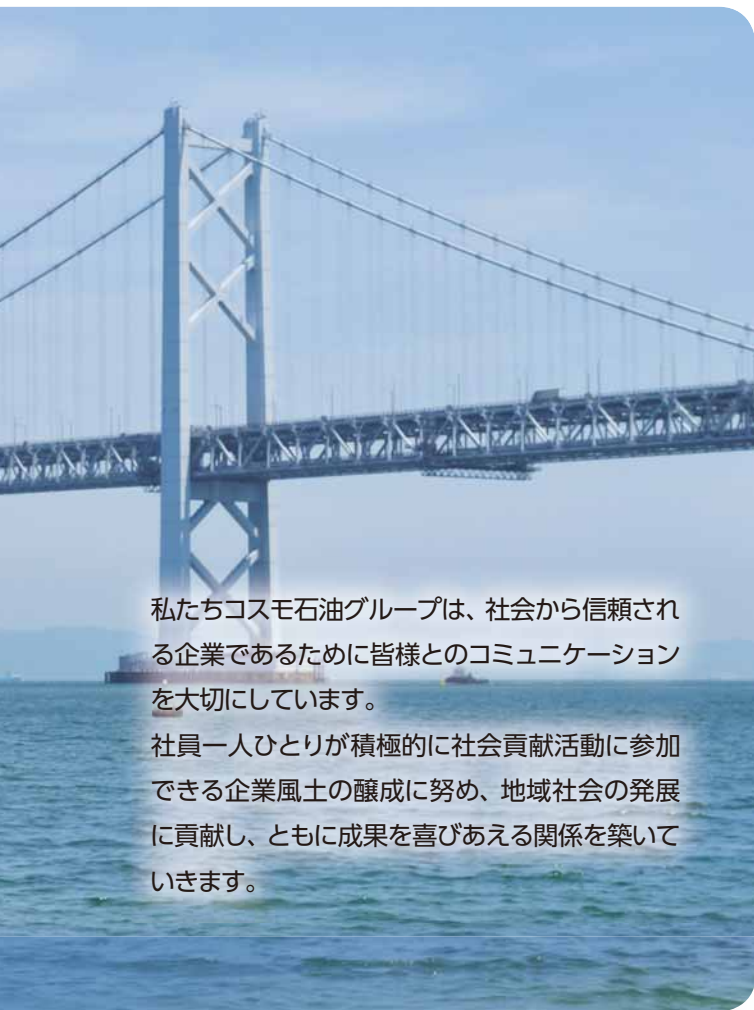
私の地元は香川で、地元企業への就職を希望していました。入社して石油の試験検査業務に従事しながら、学生時代には全く知らなかった石油の世界を知りましたが、こうしたボランティア活動を通して地元へ貢献できるのも、本当に素晴らしいことだと思います。今後もこの活動は続けていきたいですね。(谷川)



社員とその家族の皆様

◀ 海岸の清掃活動
バーベキュー ▶





私たちコスモ石油グループは、社会から信頼される企業であるために皆様とのコミュニケーションを大切にしています。

社員一人ひとりが積極的に社会貢献活動に参加できる企業風土の醸成に努め、地域社会の発展に貢献し、ともに成果を喜びあえる関係を築いていきます。

●これまで、そして今後の感謝を込めて

この海岸に落ちているごみは、地元の人が捨てたものではなく、流れてきたものです。ペットボトル、発泡スチロールなど、落ちているごみの大半は石油化学製品です。であれば、それらを私たちが拾って清掃するのは、当たり前だと考えています。40年間、この地でお世話になってきましたし、製油所ではなくなりますが、今後もオイルターミナルとして地元にはお世話になります。その感謝の気持ちを込めた活動です。また、この活動を通じて社員同士の交流が生まれ、協調性も高まったように思います。(大川)



坂出製油所

2012年8月、コスモ石油は供給体制の再構築のため、坂出製油所の精製機能停止を発表しました。2013年7月の精製機能停止後は、西日本地域への石油製品の安定供給を果たすため、物流拠点機能のオイルターミナルとして事業を継続しています。



地域の安全を守る責任

事故に備える万全の体制づくり

私 たちの防災業務は、製油所の保安・警備、安全管理を24時間体制で行うものです。事故を未然に防ぐ安全管理、万が一起きてしまった時、被害を最小に抑える防災対応のふたつが大きな柱です。

具体的には施設警備というサイト内の警備活動、そして火災発生時の自営消防隊による消火活動というもの。これまで大きなトラブルはありませんが、総合防災訓練は年4回実施しています。また、同じ地区にコンビナートを持つ各社が集まった番の州地区特別防災協議会でも、年1回持ち回りでコンビナート防災訓練を行っています。東日本大震災以来、人々の防災意識が大きく変わりました。南海トラフ大地震も想定しながら、地震への初動体制も大幅に強化するなど、地域の皆様に安心していただけるよう努力していきます。



防災訓練の様子



坂出コスモ興産株式会社
総務部 防災課

課長

尾崎 寿文 ●